

新設授業科目 改善策（ 開講科目名： インターンシップ実習 ）

担当教員名【 中山 徹 】

①カリキュラムの改善点、②シラバスの改善点、③授業形態の改善点、④配布資料の改善点、⑤学生への対応の改善点、⑥TAのあり方の改善点、⑦その他の改善点 などの観点項目を参考にご自由にお書きください。

（１）インターシップの受講者を広げるためには、履修希望者数に見合うだけのインターシップ実習先企業をあらかじめ確保しておく必要がある。

また、受講者が自分で受け入れ先を探す方式をとる場合は、その受け入れ先が適切かどうかを判断する仕組みが必要である。

（２）実際、インターシップを進めるためには、企業等との調整、学生への説明、評価などが必要であり、ここの学生ごとにアドバイザー的教員が必要となる。

（３）複数のインターシップ実習先と各学生との日程調整等々の手続きについて、担当教員とTAだけでは、その対応は困難であり、教務補佐員の支援が必要である。